

# 奥州市景気動向調査

実績：令和5年10月～令和5年12月期 見通し：令和6年1月～令和6年3月期

令和6年1月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

## ◇今期のポイント

### 「業況・売上DI共に2期連続の悪化を示す 先行きは大幅な悪化見通し」

- 全産業合計の業況DIは▲10.5と、前回調査(▲9.9)から0.6ポイント悪化した。
- 全産業合計の売上DIは▲12.2と、前回調査(▲4.3)から7.9ポイント悪化した。
- 向こう3ヵ月(1月～3月)の先行き見通しは、業況DI・売上DI共に今期実績よりも大幅に悪化する見通しとなった。
- 採算DI・資金繰りDIは前回調査よりも悪化、仕入単価DIは前回よりも改善を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が緩和する結果となった。

昨年10月から11月にかけての記録的な円安ドル高が、長引く原材料やエネルギー及び諸物価の高騰に更に拍車をかける状況となっている。その影響は景況にも顕著に表れ、今回調査の全産業合計の業況DI・売上DIは前回調査よりも更に悪化を示し、業種間で温度差は広がり、回復の足取りが鈍く停滞感を伺わせる結果となった。

向こう3ヵ月の見通しについては前回調査よりも更に悪化傾向を示し、エネルギー価格の高騰や資材各種原材料の値上げが続くのではないかとの予測が根強く、業況DI・売上DI共に大幅な悪化となり、景気の下振れ局面が今後も続きそうな結果を示している。

最低賃金の引上げ額については業種全体で「高いと思う」が10.6%、「低いと思う」が37.1%となった。この引上げ額が給与の支払い総額に影響を与えるかどうかについては「大いにある」が11.0%、「多少はある」が39.2%となった。この春の正社員採用予定では「予定あり」が38.2%、「予定なし」が61.8%となった。理由を複数回答で尋ねたところ、「予定あり」では「正社員が不足しているため」が多く、一方「予定なし」では「現在の正社員が適正人数のため」が多かった。また「予定なし」の「その他」では「募集しても応募が無い」という回答が全業種から寄せられた。

自由意見では「物価上昇により消費が冷え込んでいる」「売上が増加しても利益が好転しない」「資材が高騰している」といった意見があり、未だ景気回復の出口が見えない状態が続いている。

## 〔 調査要領 〕

- 調査期間：令和6年1月4日～24日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和5年10月～令和5年12月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

### 《調査票回収企業数》

回答数239 回収率79.6% (小売45・卸売28・製造52・建設50・サービス64)

### ※景況判断指数(DI値)について

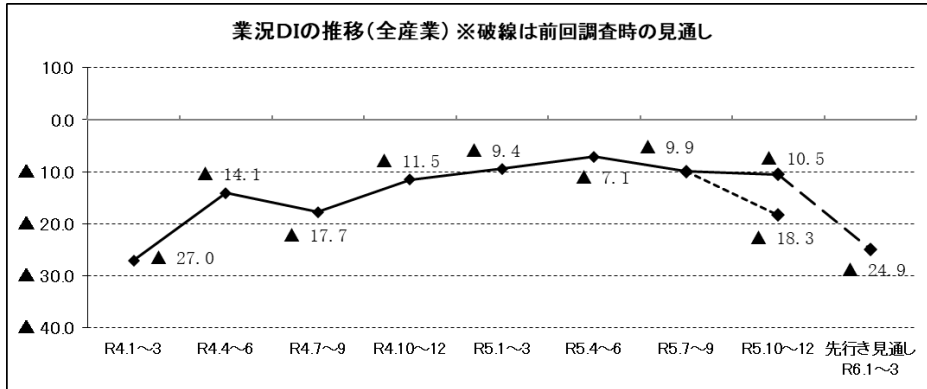
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

### 【業況D Iの推移】

今回調査の全産業合計の業況D Iは▲10.5と、前回調査(▲9.9)から0.6ポイント悪化した。業種別では小売業が▲13.3(前回調査▲15.2)と1.9ポイントの改善、卸売業が▲28.6(前回調査▲35.7)と7.1ポイントの改善、サービス業が14.1(前回調査9.2)と4.9ポイントの改善を示した。一方で、製造業が▲26.9(前回調査▲14.3)と12.6ポイントの悪化、建設業が▲12.2(前回調査▲11.4)と0.8ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(1月~3月)の業況D Iの先行き見通しについては▲24.9と、前回の調査見通し(▲18.3)及び今期実績よりも大幅に悪化する見通しとなった。業種別では全業種で数値が悪化の見通しを示している。



※前回調査との対比を  
表す「矢印」について

▲26.0以上	↑
▲25.9~▲5.1	↘
▲5.0~▲5.0	→
▲5.1~▲25.9	↙
▲26.0以下	↓

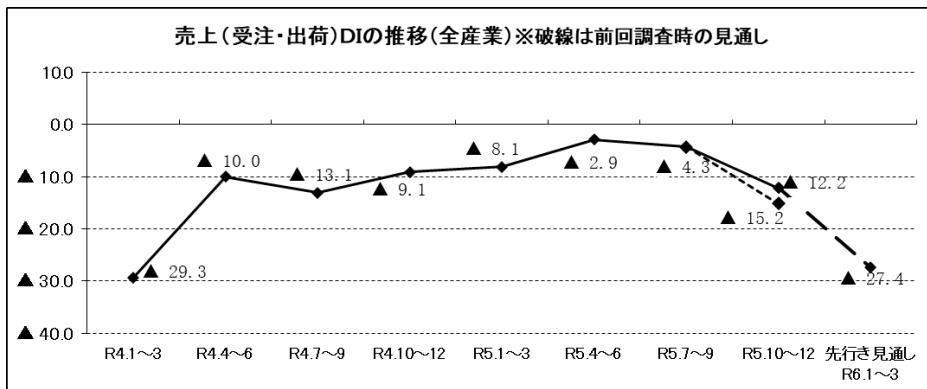
#### 業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲13.3	↘ ▲28.6	↘ ▲26.9	↘ ▲12.2	↘ 14.1
前回	▲15.2	▲35.7	▲14.3	▲11.4	9.2
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲31.8	↘ ▲46.4	↘ ▲30.8	↘ ▲34.0	↘ 1.6
前回	▲30.2	▲42.9	▲30.0	▲13.0	6.3

### 【売上D Iの推移】

今回調査の全産業合計の売上D Iは▲12.2と、前回調査(▲4.3)から7.9ポイント悪化した。業種別では小売業が▲17.8(前回調査▲19.6)と1.8ポイントの改善を示した。一方で製造業が▲25.0(前回調査8.2)と33.2ポイントの悪化、建設業が▲20.4(前回調査▲18.2)と2.2ポイントの悪化、サービス業が14.1(前回調査15.6)と1.5ポイントの悪化を示している。卸売業は▲25.0(前回調査▲25.0)で前回と変わらずとなった。

向こう3ヵ月(1月~3月)の売上D Iの先行き見通しについては▲27.4と、前回の調査見通し(▲15.2)及び今期実績よりも大幅に悪化する見通しとなった。業種別では全ての業種で数値が悪化の見通しを示している。



#### 売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲17.8	↘ ▲25.0	↓ ▲25.0	↘ ▲20.4	↘ 14.1
前回	▲19.6	▲25.0	8.2	▲18.2	15.6
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲38.6	↘ ▲39.3	↘ ▲25.0	↘ ▲42.0	↘ ▲4.8
前回	▲27.3	▲35.7	▲18.0	▲19.6	8.1

【採算・資金繰り・仕入れ単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲19.7	➡ ▲22.2	➡ ▲39.3	➡ ▲34.6	➡ ▲24.5	➡ 6.3
前回	▲18.9	▲15.2	▲39.3	▲29.2	▲14.0	▲7.9
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲30.8	➡ ▲29.5	➡ ▲46.4	➡ ▲36.5	➡ ▲40.0	➡ ▲12.7
前回	▲25.4	▲31.8	▲32.1	▲38.8	▲19.6	▲11.5

全産業合計の採算DIは▲19.7と、前回調査(▲18.9)から0.8ポイント悪化した。業種別ではサービス業で数値が改善、卸売業で数値が変わらず、小売・製造・建設業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲10.5	➡ ▲20.0	➡ ▲10.7	➡ ▲17.3	➡ ▲8.2	➡ 0.0
前回	▲8.7	▲11.1	▲14.3	▲10.2	▲9.1	▲3.1
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲20.8	➡ ▲18.2	➡ ▲28.6	➡ ▲23.1	➡ ▲34.0	➡ ▲6.5
前回	▲14.5	▲26.2	▲21.4	▲18.0	▲6.5	▲6.6

全産業合計の資金繰りDIは▲10.5と、前回調査(▲8.7)から1.8ポイント悪化した。業種別では卸売・建設・サービス業で数値が改善、小売・製造業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

仕入れ単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲70.9	➡ ▲84.4	➡ ▲70.4	➡ ▲64.7	➡ ▲69.4	➡ ▲67.7
前回	▲75.1	▲84.8	▲70.4	▲73.5	▲74.4	▲71.9
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲59.8	➡ ▲63.6	➡ ▲70.4	➡ ▲46.2	➡ ▲62.0	➡ ▲62.3
前回	▲67.7	▲81.8	▲74.1	▲54.0	▲65.2	▲67.7

全産業合計の仕入れ単価DIは▲70.9と、前回(▲75.1)から4.2ポイント改善した。業種別では小売・製造・建設・サービス業で数値が改善を示している。卸売業は数値が変わらずとなった。

※DI値=(下落)-(上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 31.9	➡ 18.2	➡ 14.3	➡ 19.2	➡ 52.0	➡ 43.8
前回	34.2	20.9	17.9	16.3	62.8	44.6
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 31.8	➡ 18.6	➡ 17.9	➡ 23.1	➡ 50.0	➡ 39.7
前回	36.0	22.0	17.9	24.0	58.7	46.0

全産業合計の従業員DIは31.9と、前回(34.2)から2.3ポイント人手不足感が緩和する結果となった。業種別では製造業で人手不足感が強まり、小売・卸売・建設・サービス業で人手不足感が緩和する結果となった。

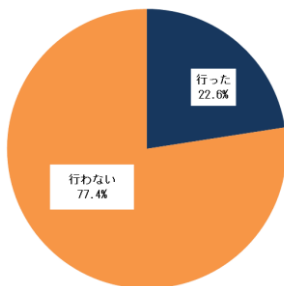
※DI値=(不足)-(過剰)

【経営環境】

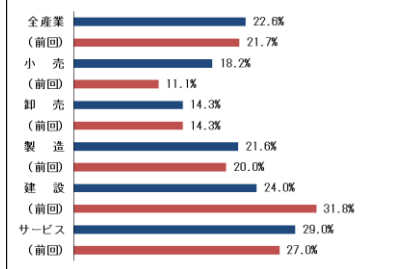
天候の影響(%)	天候の影響(%)			人件費率(%)	人件費率(%)			業種間競争(%)	業種間競争(%)		
	好影響	影響なし	悪影響		上昇	変化なし	低下		緩和	変化なし	激化
全産業	11.5%	68.4%	20.1%	全産業	43.1%	54.3%	2.6%	全産業	1.3%	68.4%	30.3%
(前回)	5.8%	63.7%	30.5%	(前回)	47.1%	48.9%	4.0%	(前回)	0.4%	67.5%	32.0%
小売業	11.6%	58.1%	30.2%	小売業	42.9%	54.8%	2.4%	小売業	0.0%	65.9%	34.1%
(前回)	7.1%	50.0%	42.9%	(前回)	45.5%	50.0%	4.5%	(前回)	0.0%	61.4%	38.6%
卸売業	7.1%	60.7%	32.1%	卸売業	39.3%	53.6%	7.1%	卸売業	3.6%	57.1%	39.3%
(前回)	10.7%	60.7%	28.6%	(前回)	46.4%	46.4%	7.1%	(前回)	0.0%	70.4%	29.6%
製造業	0.0%	90.2%	9.8%	製造業	44.2%	55.8%	0.0%	製造業	2.0%	72.5%	25.5%
(前回)	4.3%	76.1%	19.6%	(前回)	53.1%	42.9%	4.1%	(前回)	0.0%	63.3%	36.7%
建設業	24.5%	53.1%	22.4%	建設業	52.1%	45.8%	2.1%	建設業	0.0%	67.3%	32.7%
(前回)	2.3%	58.1%	39.5%	(前回)	55.8%	41.9%	2.3%	(前回)	2.2%	60.0%	37.8%
サービス業	12.7%	73.0%	14.3%	サービス業	37.1%	59.7%	3.2%	サービス業	1.6%	72.6%	25.8%
(前回)	6.3%	68.8%	25.0%	(前回)	38.1%	58.7%	3.2%	(前回)	0.0%	79.4%	20.6%

天候の影響は、全産業で好影響が11.5%、影響なしが68.4%、悪影響が20.1%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が43.1%、変化なしが54.3%、低下が2.6%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が1.3%、変化なしが68.4%、激化が30.3%という回答となった。

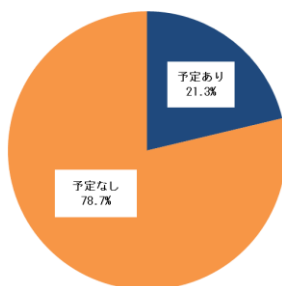
設備投資を行ったか



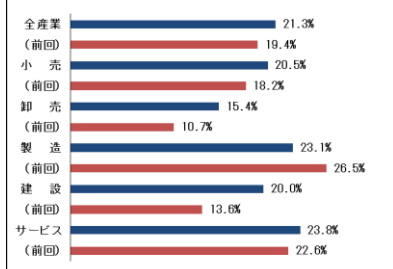
業種別：設備投資を行った企業の割合



設備投資予定



業種別：設備投資予定あり企業の割合

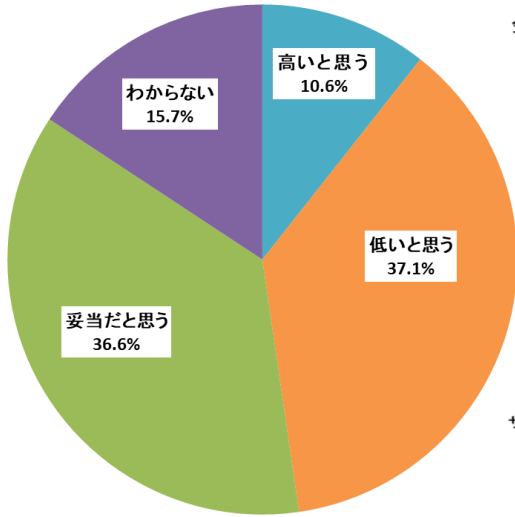


設備投資は全産業で22.6%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(21.7%)よりも増加した。今後設備投資の予定があると答えた事業所は21.3%となり前回調査(19.4%)よりも増加した。

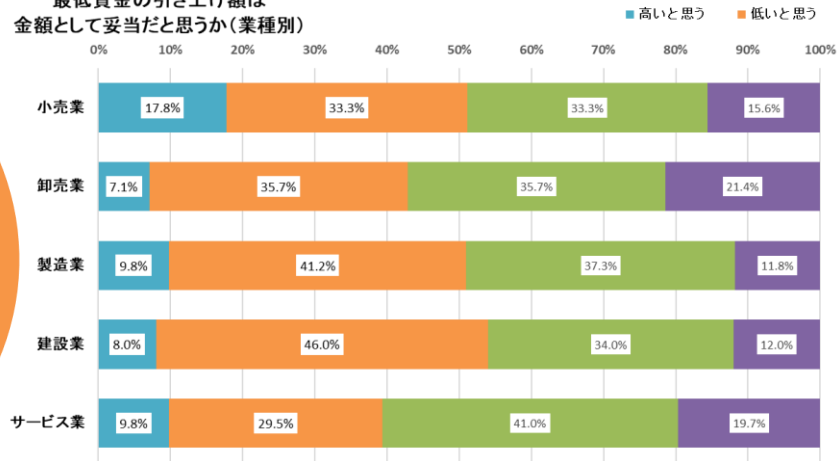
## 【臨時調査】最低賃金について

令和5年度の岩手県の最低賃金が「893円(前年比39円増)」に上げられた事について、この引上げ額が一般的な額として妥当かどうかを尋ねたところ、業種全体で「高いと思う」が10.6%、「低いと思う」が37.1%、「妥当だと思う」が36.6%となった。

最低賃金の引き上げ額は金額として妥当だと思うか(全業種)



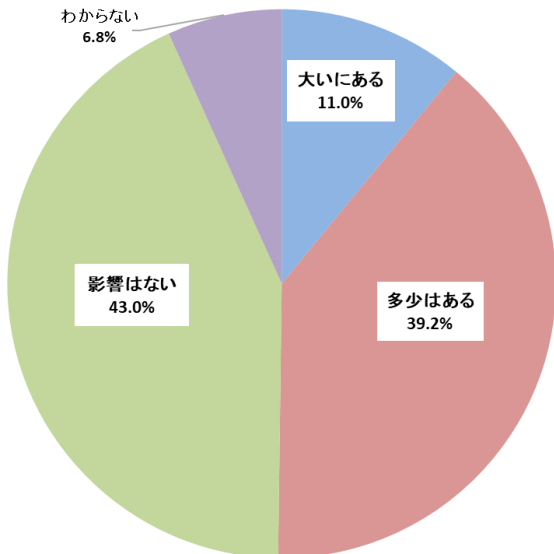
最低賃金の引き上げ額は金額として妥当だと思うか(業種別)



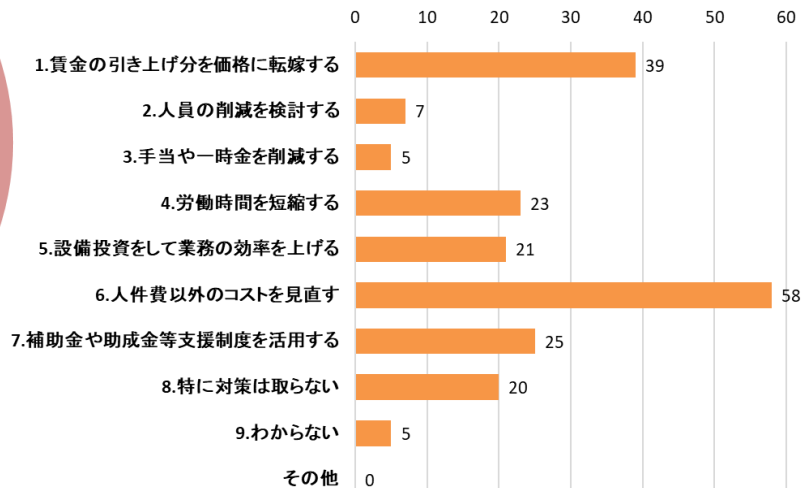
今回の最低賃金引上げが給与の支払い総額に影響を与えるかどうかを尋ねたところ、「大いにある」が11.0%、「多少はある」が39.2%となり、全体の約半数が給与の支払い総額に何らかの影響があると回答した。一方で「影響はない」が43.0%となった。

「大いにある」「多少はある」と回答した事業所に、賃金を引き上げる場合の対策を複数回答で聞いたところ、「人件費以外のコストを見直す」が58件と最も多く、次いで「賃金の引き上げ分を価格に転嫁する」が39件となった。一方で「特に対策は取らない」という意見が20件あった。

最低賃金の引き上げは貴社の給与の支払い総額に影響を与えるか(全業種)



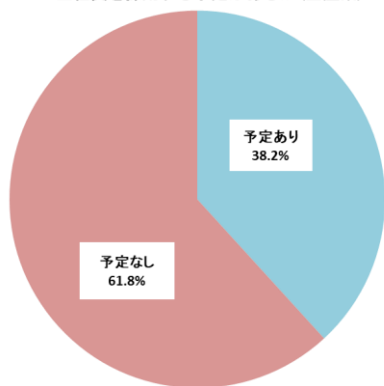
※「大いにある」「多少はある」と回答した方  
貴社の賃金を引き上げる場合の対策※全業種(複数回答:件)



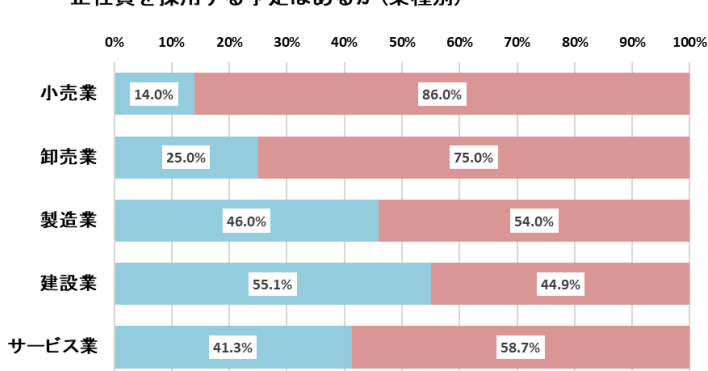
【臨時調査】令和6年4月の正社員採用予定について

今春に正社員を採用する予定があるかどうかを尋ねたところ、「予定あり」が38.2%、「予定なし」が61.8%となった。業種別では「採用する」との回答が建設業で55.1%、製造業で46.0%、サービス業で41.3%だったのに対し、「採用しない」の回答が小売業で86.0%、卸売業で75.0%となり、業種間での格差が浮き彫りになった。

正社員を採用する予定はあるか(全産業)

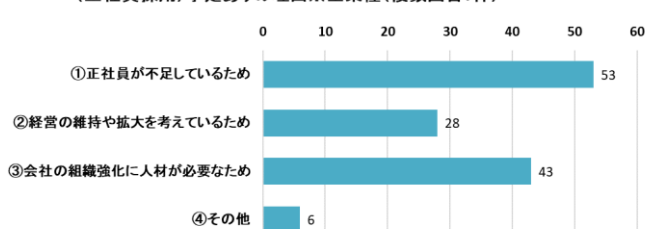


正社員を採用する予定はあるか(業種別)

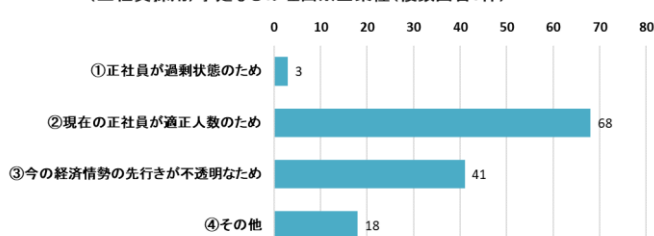


採用の「予定あり」「予定なし」の理由を複数回答で聞いたところ、「予定あり」では「正社員が不足しているため」が53件、「会社の組織強化に人材が必要なため」が43件、一方「予定なし」では「現在の正社員が適正人数のため」が68件、「今の経済情勢の先行きが不透明なため」が41件という回答が多数を占めた。また「予定なし」の「その他」では「募集しても応募が無い」という回答が全業種から寄せられ、昨今の人手不足を反映した調査結果となった。

(正社員採用) 予定ありの理由※全業種(複数回答:件)



(正社員採用) 予定なしの理由※全業種(複数回答:件)



採用予定「予定あり」その他

- ・ 定年退職の補充 (卸売業)
- ・ 年齢構成の適正化のため (製造業)
- ・ 人材次第で採用検討 (サービス業)
- ・ 平日のパートが必要 (サービス業)

採用予定「予定なし」その他

- ・ 4月に限らず常に必要時採用 (小売業)
- ・ 前年度入社の子員の指導が終わっていないため (製造業)
- ・ 今春の採用予定は無いが検討している (サービス業)
- ・ 随時募集をしている (サービス業)

【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・ メイプル閉店による影響が大きい。市の対応が分からず先行きが見えない状況
- ・ 鉄器の生産減少が売上減少になっている
- ・ 今年の初売りは例年になく閑散としていた
- ・ 温暖化も影響してか、本来のパーツや備品販売が全体に低下している

(卸売業)

- ・ 物価上昇により消費が冷え込んでいる状況で、これからも徐々に減少傾向になると思う
- ・ 賃金は全国と比較して安いと思うが増加した。賃金をどのように捻出するかが大きな問題となっている
- ・ 今までの常識が通用しない時代に入ってしまったと感じる。

(製造業)

- ・ B C Pの点検と見直しを行っている
- ・ 昨年から完全週休2日制にチャレンジしている
- ・ 新事業部門の開設とその展開によって売上全体の改善を図る
- ・ 売上が増加しても利益が好転しない

(建設業)

- ・ 資材が高騰している
- ・ 人手不足のため下請業種で経費倒れが起きている。取引先と組んで販路拡大を検討している
- ・ 組織強化を図りたいが、職人になろうとする若者がいない

(サービス業)

- ・ 支払いが遅れる顧客が増えてきたような感じがする
- ・ 改装工事を行う予定

◇奥州市景気動向調査票《実績10~12月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに○をつけ「1月15日(月)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

A 小売業 B 卸売業 C 製造業 D 建設業 E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期(10月~12月)と比較してどのような状況と判断されますか？

① 10~12月実績 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(3) 売上高：売上高(受注高・出荷高)は、前年同期(10月~12月)と比較してどうですか？

① 10~12月実績 

増加	変わらず	減少
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

増加	変わらず	減少
----	------	----

(4) 採 算：採算は、前年同期(10月~12月)と比較してどうですか？

① 10~12月実績 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期(10月~12月)と比較してどうですか？

① 10~12月実績 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期(10月~12月)と比較してどうですか？

① 10~12月実績 

下降	変わらず	上昇
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

下降	変わらず	上昇
----	------	----

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期(10月~12月)と比較してどうですか？

① 10~12月実績 

不足	適正	過剰
----	----	----

 ② 向こう3ヶ月見通し 

不足	適正	過剰
----	----	----

(8) 経営環境：10月~12月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

①天候の影響 

好影響・影響なし・悪影響
--------------

 ②人件費率 

上昇・変化なし・低下
------------

 ③業種間競争 

緩和・変化なし・激化
------------

④設備投資 

行った・行わない
----------

 ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内) 

予定あり・予定無し
-----------

◎臨時調査

(9) 最低賃金について：令和5年度の岩手県の最低賃金は10月4日から「893円(前年比39円増)」に引上げられました。これを踏まえて、従業員の有無に関わらず皆様にお伺いします

(9-1) ※全員にお伺いします

今回の県内最低賃金の引き上げ額(前年比39円増)は一般的な金額として妥当だと思いますか？

高いと思う	低いと思う	妥当だと思う	わからない
-------	-------	--------	-------

(9-2) ※全員にお伺いします

今回の県内最低賃金引き上げは、貴社の給与の支給総額に影響を与えますか？

大いにある	多少はある	影響はない	わからない
-------	-------	-------	-------

(9-3) ※「大いにある」「多少はある」と回答した方のみ

今回の県内最低賃金引き上げに対して貴社の賃金を引き上げる場合、どのような対策を考えていますか？(複数回答)

1. 賃金の引上げ分を価格に転嫁する
2. 人員の削減を検討する
3. 手当や一時金を削減する
4. 労働時間を短縮する(残業時間削減等)
5. 設備投資をして業務の効率を上げる
6. 人件費以外のコストを見直す
7. 補助金や助成金等支援制度を活用する
8. 特に対策は取らない
9. わからない
10. その他( )

(10) 2024年(令和6年)4月の正社員採用予定について：この春、正社員を採用する予定はありますか？

予定あり
------

↓ その理由(複数回答)

- ①正社員が不足しているため
- ②経営の維持や事業拡大を考えているため
- ③会社の組織強化に人材が必要なため
- ④その他( )

予定なし
------

↓ その理由(複数回答)

- ①正社員が過剰状態のため
- ②現在の正社員が適正人数なため
- ③今の経済情勢の先行きが不透明なため
- ④その他( )

(11) その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。